

特集

平成30年度 当初予算と主要事業



本年度は、第6次長期総合計画の締めくくりの年度となり、その成果を踏まえ、現在第7次総合計画の策定を進めています。中高生によるワークショップを開催し、若者の意見を聴くとともに、まちづくりに意欲的な市民の参加を得て、市民ニーズを反映させた総合計画の策定に取り組みます。地方創生が本格化している中で、地域の魅力を活かしたまちづくりの推進が最重要課題となっています。「強くて美しいまち・荊崎」「元気で豊かなまち・荊崎」「夢と思いやりのあるまち・荊崎」の3つの挑戦に「チーム荊崎」で取り組み、市民目線の活力あるまちづくりを推進します。

将来を担う子どもを のびのび育むまちづくり

◆子育て支援の充実

子どもたちの成長に合わせ継続的に支援を行うため、「荊崎子育てすくすくセンター」を開設し、妊娠期から子育て期にわたる総合的支援事業を提供します。

産後の初期段階の母子に対し、身体機能の回復や、授乳状況および精神状態を把握し、支援の強化を図ります。

また、新生児の聴覚障害の早期発見による音声言語発達等への影響を最小限に抑えるため、すべての新生児に対し聴覚検査を実施します。

平成27年度より実施している産後ケア事業は、慣れない育児に不安のある母子に対し、心身のケアや育児サポート等を行い、産後安心して子育てができる支援体制を整えています。4月より低所得者の負担の助成を拡大します。

◆子育て環境の整備

甘利山の木材を使用した園児にやさしい温もりのある再編第2保育園のたんぼ保育園は、藤井公民館との複合施設

設として秋の開園を目指し整備を進めます。

また、市内外の子育てをしている方々と支援に携わる機関や団体が一同に会し、二コリ全館を使用した、「にらちびフェスティバル」を開催し、「子育てするなら荊崎市」を県内外にアピールします。

◆学校教育の充実

甘利小学校の大規模改修事業は、理科教室等の特別教室と外壁・外構の工事に着手し、9月末の完成を目指しています。

荊崎北西小学校のエアコンの更新や学習支援員の増員など児童・生徒の安全で快適な学習環境を整備します。

また、保護者の経済的な負担をより軽減するため、就学援助費を増額するとともに、新入学児童・生徒学用品費について入学前の3月に支給します。

将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

予算額(千円)

番号	事業名	予算額(千円)
1	子ども医療費助成事業費	106,241
2	ひとり親家庭医療費助成事業費	18,977
3	児童センター管理運営費	40,721
4	放課後子どもプラン推進事業費	9,236
5	地域子育て支援センター管理運営費	28,743
6	ファミリーサポート支援事業費	2,307
7	子育てフェスティバル開催事業費	472
8	保育園運営費	304,389
9	病児・病後児保育所運営費	14,982
10	子ども・子育て支援事業費	115,960
11	再編保育園・藤井公民館整備事業費(保育園分)	87,150
12	私立幼稚園奨励補助事業費	30,292
13	学力向上フォローアップ事業費	661
14	小中学校運営事業費	105,568
15	小中学校給食運営事業費	154,194
16	甘利小学校大規模改修事業費	6,083
17	育英奨学金貸付事業費	7,440

誰もが安心して暮らせるまちづくり

誰もが安心して暮らせるまちづくり

予算額 (千円)

1	健康教育事業費 (健康ポイント事業含む)	1,144
2	予防接種事業費	64,820
3	健康診査事業費	4,910
4	がん検診事業費	50,583
5	健康ふれあいセンター管理運営費	37,406
6	分べん取扱施設誘致助成事業費	40,000
7	老人福祉センター管理運営費	14,425
8	重度心身障害者医療費助成事業費	109,079
9	障害者自立支援給付費等負担事業費	716,559
10	障害者等地域生活支援事業費	31,940
11	障害児通所支援事業費	71,255
12	社会福祉事務費	393
13	消防団運営事業費	49,990
14	消防ポンプ自動車整備事業費	19,539
15	安全・安心なまちづくり事業費	5,867
16	災害対策事業費	9,017
17	防災行政無線デジタル化推進事業費	503,036
18	一時生活支援事業費	168
19	生活保護施行事業費	312,354
20	若者定住就職奨励事業費	2,460
*	韮崎市立病院運営事業費	2,578,621
*	国民健康保険運営事業費	2,941,781
*	後期高齢者医療保険運営事業費	306,137
*	介護保険運営事業費	2,376,502

*印は特別会計・企業会計

◆健康への推進

市が実施する基本健診の自己負担を無料とし、併せて一般健診などの対象年齢を現在の25歳以上から19歳以上に引き下げることにより、1人でも多くの市民の皆さんの健康づくりに役立てます。

◆医療体制の充実

市民の皆さんが安心して出産できる環境を整えるため、

市内への産婦人科医院開設に対して助成を行い、本市の人口増加につなげます。

◆社会保障制度の充実

本年度から、県が市町村とともに国保の財政運営を行うことにより、将来、安定的な運営が可能となるとともに、国保税の見直しを行い、被保険者の負担軽減を図ります。また、高齢者福祉計画・介

護保険事業計画の改定に伴い、本年度の介護保険料については、市民の皆さんの意欲的な介護予防事業への取り組みにより、基準月額を据え置くことになり、引き続き、市民の皆さんの健康増進のため介護予防も含めた積極的な支援を行います。

◆障がい者福祉の充実

災害時や緊急時に、障がいのある方や認知症の方などが、必要な支援を受けられるよう、ヘルプカードを作成し対象者へ配布します。さらに、意思疎通が困難な聴覚や言語機能に障がいのある方の相談業務等を円滑に行うため、福祉課窓口到手話通訳士1名を週1日配置し、サービスの向上を図ります。

◆防災体制の強化

防災行政無線をデジタル方式へ移行するため、庁舎3階への基地局の移設、七里岩中継局や子局の更新工事を行います。

また、消防団活動の充実を図るため、穂坂分団の可搬式小型動力ポンプおよび神山分団の消防ポンプ自動車を更新し、消防力の強化を図ります。

心地よい定住環境のあるまちづくり

◆公共バスの充実

市民バスの充実を図るため、龍岡町の真葛、越道、スカイタウン地区へワゴンタイプのバスを導入し、10月から運行を開始します。さらに、竜岡線の単線化により、穂坂線とのバスの併用が解消されることから、穂坂線については、増便を図ります。

◆道路等の整備

主要地方道韮崎昇仙峡線拡幅工事については、上ノ山・穂坂地区工業団地入口付近を中心に、引き続き、用地の買収状況により順次、歩道と車道の施工および舗装工事を進めていきます。

心地よい定住環境のあるまちづくり

予算額 (千円)

1	浄化槽設置促進事業費	18,857
2	クリーンエネルギー導入促進事業費	900
3	廃棄物処理対策事業費	68,502
4	ごみ減量アクションプラン推進事業費	205
5	資源リサイクル推進事業費	18,000
6	火葬場管理運営費	22,000
7	市営住宅改修事業費	19,399
8	定住促進住宅改修事業費	53,013
9	持家住宅定住促進助成事業費	58,700
10	市立公園等管理費	6,083
11	市民バス運行事業費	57,113
12	高齢者タクシー利用助成事業費	2,662
13	市単独道路整備事業費	146,500
14	市道 (旭) 58 号線道路整備事業費	43,200
15	市道 (神山) 2 号線道路整備事業費	48,600
16	市道 (神山) 39 号線道路整備事業費	11,274
17	堀切橋拡幅整備事業費	229,800
*	水道事業費	1,450,457
*	公共下水道事業費	1,364,400

*印は特別会計・企業会計

魅力あふれるまちづくり

◆魅力ある観光施策の充実

文部省唱歌「たなばたさま」を作詞した権藤はなよと生誕地である本市を広くPRするため、7月7日の七夕の日までの1か月間、韮崎駅前広場で、「七夕サマールミネーション」に「さき」を開催し、本市の新たな魅力の創出を図ります。

◆まちの賑わいをつくりだす商工業の振興

第3期まちなか活性化計画の策定は、市民アンケートの分析結果を踏まえながら作業を進めています。引き続き、

魅力あふれるまちづくり

予算額 (千円)

1	県営畑地帯総合土地改良事業費	46,644
2	小土地改良事業費	74,934
3	県営かんがい排水事業費 (朝穂堰・楯無堰)	12,425
4	県営農村地域防災減災事業費 (沢村堤・ミツ沢地区・山口溜池)	19,800
5	赤ワインの丘ブランド化推進事業費	1,290
6	新規就農者支援事業費	18,210
7	まちなか活性化推進事業費	18,952
8	商工団体育成事業費	9,265
9	観光振興事業費	17,257
10	再編保育園・藤井公民館整備事業費 (公民館分)	9,766
11	市立図書館管理運営費	66,431
12	サッカーのまちプロジェクト事業費	8,955
13	地域体育館管理運営費	50,877
14	文化ホール管理運営費	139,701
15	美術館管理運営費	27,209
16	新府城跡啓蒙事業費	1,106

社会情勢や市民ニーズを把握し、まちなかへ賑わいを創出していきます。

◆農業生産基盤の整備

ため池の防災・減災を図るため、穂坂町の沢村堤と新溜池の改修および旭町山口ため池の測量設計を実施します。また、農業用水の安定供給のため穂坂、上ノ山が受益地となる楯無堰の改修を図ります。

◆赤ワインの丘ブランド化推進事業

市内の醸造用ブドウの生産

拡大およびワインを新たな地域資源とするなど農業振興を図りながら、6次産業化によるブドウ・ワインを中心としたブランド化を推進していくため、協議会の設立や消費拡大に向けたPRイベントを開催します。

◆スポーツ活動の充実

グリーンフィールド穂坂で開催する各種大会やイベント時の駐車スペースの不足を解消するため、駐車場の整備を行い、利用者の利便性の向上を図ります。

また、老朽化した中田、穴山、円野地区の屋内運動場の改築については、中田町屋内運動場から順次、建設に着手します。

◆次世代につなぐ歴史・文化の醸成

まちなか美術館事業では、商店などに韮崎大村美術館が所蔵する作品を貸し出し、まちなかに美術作品の展示を行います。

また、昨年購入した新府城築城に関わる書状については、企画展を開催し、市民の皆さんの学習の機会を設け、貴重な資料を後世に伝えていきます。

人が集う交流のあるまちづくり

◆市民の交流拠点の充実

市民交流センターニコリは交流拠点として世代を超えた多くの市民の皆さんに愛され利用されています。今後も、市民の活動拠点として、皆さんに役立てる施設運営を行います。

◆男女共同参画の推進

すべての男女が共に暮らしやすい社会の実現へ向け、市民「協働」でまちづくりに取り組んでいきます。

健全な行政活動によるまちづくり

◆ふるさと納税の充実

ふるさと納税申し込みのポータルサイトを増加し、県内外に情報発信します。さらに、返礼品のラインナップを充実し、本市行政への参画やPRに努めます。

◆市民活動の支援

市民の皆さんのアイデアをまちづくりに活かすため、公募・提案型補助金制度により、活力あるまちづくりへの取り組みを支援します。

健全な行政活動によるまちづくり

予算額 (千円)

1	職員研修費	5,359
2	庁舎管理費	134,260
3	ふるさと納税事業費	61,417
4	賦課徴収事務費	38,617
5	総合計画費	8,246
6	情報システム管理費	179,697

人が集う交流のあるまちづくり

予算額 (千円)

1	市民交流センター管理運営費	69,951
2	文書管理事務費	26,286
3	広聴広報事務費	16,349
4	男女共同参画社会づくり事業費	1,261
5	地区活動推進事業費	19,802

葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

◆青少年育成プラザ・ミアキス

平成28年10月からスタートし、現在では登録者数が千名を超え、多くの中高生が利用しているミアキスですが、本年度は就学・就業で県外へ出た若者とミアキスをつなぐ、WEB版アダルトユニバーサキの作製により、市内へのカムバックを目指すとともに、中学校、事業者、商工会などと連携して「葦崎版職場体験」を実施します。

◆地方創生の推進

地域でまちづくり活動に取り組む団体の方々の協力を得ながら、外国人が地域住民と交流を図る自然体験型モニターツアーを四季折々に開催し、地域活性化の方向性を探っていきます。

県外大学等へ通学する方に対し、定期券購入費の一部を補助する鉄道支援補助金を創設し、学生の転出抑制を図ります。また本市の製造業の事業所に就業する男女を対象に、婚活アドバイザーによる事前セミナーを開催し、商工

会と連携した婚活イベントにより、若い世代の結婚を応援します。

◆空き家対策の促進

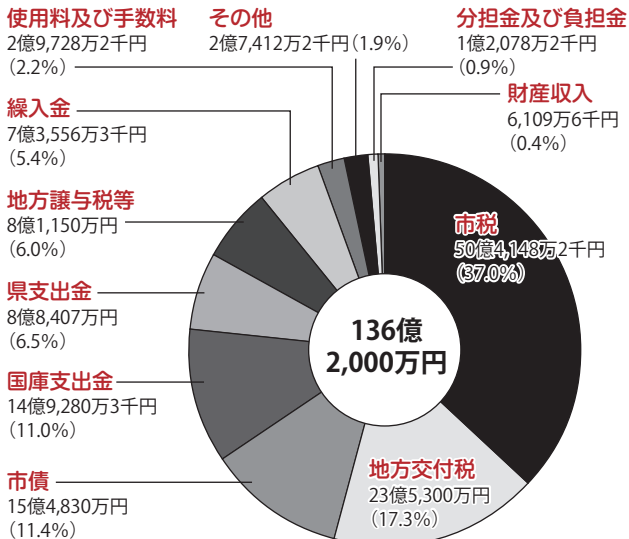
昨年開始した「空き家暮らし大作戦」による空き家コーデイネーターの方々の積極的な情報収集や所有者への活発なアプローチ活動が空き家バンクの登録につながるなど、着実な成果に結びついています。また、持家住宅定住促進助成事業については、市内在住者の追加や子育て世帯への加算など拡充することで、移住・定住の促進による地域の活性化の取り組みを強化します。

まち・ひと・しごと創生総合戦略関連

	予算額 (千円)
1 中小企業等支援事業費	6,695
2 定住対策促進事業費(合計)	59,181
3 幸せ結婚・出産応援事業費(合計)	8,748
4 子育て応援事業費(合計)	764
5 観光プロモーション推進事業費	7,858

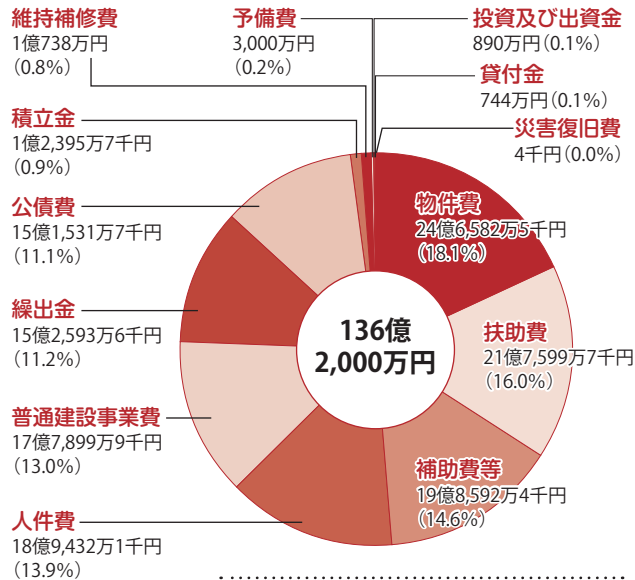
平成30年度当初予算 歳入・歳出の内訳 (一般会計)

歳入



※地方譲与税等には、地方譲与税のほか、利子割交付金等の各種交付金の合計を記載しています。

歳出〔性質別〕



歳出〔目的別〕

